

国際機関における地方創生をめぐる議論
OECD（経済協力開発機構）地域開発政策委員会だより
(PART II)

(7) 第3回「パイロットミーティング」と「2021GGSD フォーラム」

2021年11月16日には第3回「パイロットミーティング・地方政府と地域開発のための公共投資」が開催され、地域ガバナンス改革、公共投資財源、気候変動対策などについて議論が行われた。パイロットミーティングは2020年11月17日の第1回会合後、2021年3月3日には英、豪、加、チリ、エストニア、アイスランド、英国ウェールズなど8つの国・地域からなる運営委員会の初会合が開かれた。第2回パイロットミーティングは2021年4月28日、国・地方の政府、関係機関など130名以上の参加を得て、リモート形式で盛大裡に開催されている。

また、第45回地域開発政策委員会と並行し、11月16日から18日にかけての3日間、第10回「環境にやさしい成長と持続的な地域整備に関するフォーラム」(GGSD Forum : Green Growth and Sustainable Development Forum) がリモート形式で開催された。OECDの「グリーン成長戦略」(Green Growth Strategy) 10周年を記念して、今回の「2021GGSD フォーラム」はマシアス・コールマン・新OECD事務総長 (Secretary General) 臨席の下、気候変動や新型コロナ禍等の危機からの「よりよき再建」にグリーン成長がいかにその役割を果たせるかという問題意識から、「都市交通と都市計画」、「持続可能な観光政策」、「エネルギー効率と建築環境」、「環境にやさしい中・長距離交通」等のテーマで議論が行われた。